

弥生美術館 プレスリリース

2023/1/6～3/26 「田村セツコ展」

85

歳、少女を描き続ける永遠の少女

田村セツコ展

あらまう。
びっくり。

- 1 NOTE BOOK入りリリッ
- 2 セツコのネックレス/リリッ
- 3 カップ&ソーサー/サンリオ
- 4 紙製トランク/サンリオ
- 5 「ひとりぼっち」/サンリオ

女性イラストレーターの先駆け、田村セツコ。1958年のデビューから65年を迎える今に至るまで、セツコは「カワイイ」の体現者として活躍し続け、近年は「すてきなおばあさん」としても注目されています。おちゃめな表情の少女たち、心にキキメのあるエッセイ、チャミングな付まい…セツコは様々な人たちに元気を届けてきました。本展では、世代を超えて親しまれる挿絵や、かつての少女たちの宝物「セツコグッズ」を中心とした少女の部屋、イラストエッセイや思い出の品を中心としたおばあさんの部屋を通して、作品とともに「進化し続けるすてきな」おばあさんで、永遠にあの頃の少女である「田村セツコ」という二人のヒロインの魅力を紹介します。

協力 サンリオ 集英社 小学館 シーモングラフ

2023

1.6 FRI ▶ 3.26 SUN



東京メトロ千代田線(根津駅)or
南北線(東大前駅)共に徒歩7分
JR上野駅公園口・しのばす口より
徒歩20分(東京大学弥生門斜め前)

*駐車場はございませんので、
お車でお越しはご遠慮ください。

弥生美術館

Yayoi Museum

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3

Tel. 03-3812-0012

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

休館日 月曜日

*ただし、1月9日(月・祝)開館、1月10日(火)休館。

*新型コロナウイルスの影響により、

会期・休館日・開館時間が変更になる場合があります。

開館時間 午前10時～午後5時(最終入館午後4時半迄)

入館料 一般1000円/大・高生900円/中・小生500円

*竹久夢二美術館と2館併せてご覧いただけます。

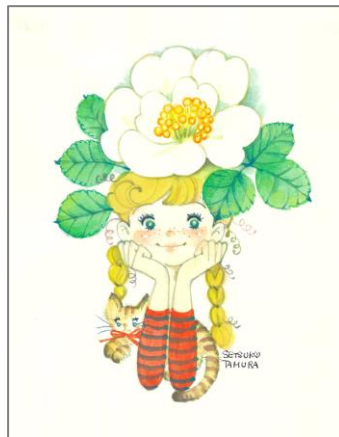
10年ぶり!田村セツコのおちゃめな世界が弥生美術館に帰ってくる!

女性イラストレーターの先駆け、田村セツコ。1958年のデビューから65年を迎える今に至るまで、セツコは「カワイイ」の体現者として活躍し続け、近年は「すてきなおばあさん」としても注目されています。

本展では、1階展示室をグッズ・童話挿絵を中心とした**少女の部屋**、2階展示室を大人の心に沁みるエッセイ・近年のコラージュ作品を中心とした**おばあさんの部屋**としてコンセプトを分け、二室を通し「進化し続けるすてきなおばあさんで、永遠にあの頃の少女である」田村セツコという一人のヒロインの魅力をご紹介します。



②「ふしぎの国のアリス」
『心ときめく☆夢みるプリンセスの物語』より
(ナツメ社 2013年) ©田村セツコ



③「セツコのおしゃれ相談」
『いちご新聞』より
(サンリオ) ©田村セツコ

ここがポイント!

1階展示室・少女の部屋

① 一世風靡!70年代セツコ・グッズ一挙公開!

手帳にハンカチ、アクセサリなど、可愛らしいセツコ・グッズは、かつての少女たちの宝物。

ある世代には懐かしく、ある世代には目新しい? たくさんのアイテムを所狭しと展示します。

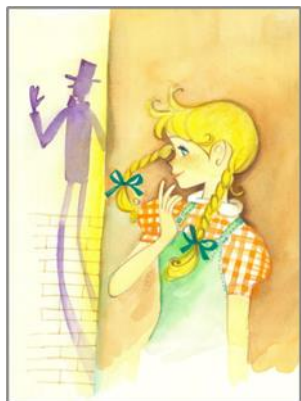


④HAPPYちゃん ©田村セツコ

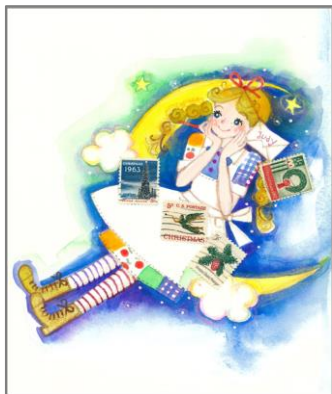
② 世代を超えて愛される名作物語の挿絵

ヒット&ロングセラー『おちゃめなふたご』（ポプラ社）をはじめ、さまざまな物語の挿絵を描いてきたセツコ。カラーイラストはもちろん、モノクロイラストにもぜひご注目を。印刷では表現しきれない鉛筆の温かみを感じることができます!

長いキャリアの中では、同じ物語を異なる媒体で描くことも。デビュー初期から近年の作品が同時に並ぶ、貴重な機会をお見逃しなく。



⑤『あしながおじさん』
(ポプラ社 1988年)
©田村セツコ



⑥「ハッピーおばさんの
ひみつの小部屋
あしながおじさんの巻」
『いちご新聞』より
(サンリオ) ©田村セツコ



⑦『おちゃめなふたごの
さいごの秘密』
(ポプラ社 1986年)
©田村セツコ



⑧『はりきりダレルと
シンデレラ』
(ポプラ社 1990年)
©田村セツコ

ここがポイント!

2階展示室・おばあさんの部屋

① 85歳、現役!自由でうららかで冒険好きなおばあさん

2階は「すてきなおばあさん」の秘密に迫ります。なんと、セツコが展示をプロデュース!直筆コメントの添えられた作品たちが皆様をお待ちしています。

日々のどんなことも冒険と捉え前向きに歩み続けてきたセツコ。おばあさんと言われる歳になっても、少女時代からのおちゃめな心は忘れません。「不安を抱えていた若いころよりも、できることが沢山増えた今の方が自由。経験という名の魔法を使って困難を乗り越えられるから」とウインクしながら語ります。

ひとりごとは心の栄養?あなたは私?心の中に必要な屋根裏部屋って?セツコの思いが詰まった言葉の答えは、2階に展示される、伸びやかで自由な発想に満ちたコラージュ作品や、日常に潜む小さな宝石を大切に拾い集めるかのように綴られるイラスト・エッセイ、セツコを形作る思い出の品々のなかに隠れています。

★2022年8月に集英社より出版されたセツコの新刊『白髪国のアリス』収録原画も多数展示します!



⑨『白髪国のアリス』より
(集英社 2022年)
©田村セツコ/集英社



⑩ドッペルゲンガー ©田村セツコ



⑪『きらら』9月号表紙
(小学館 2019年)
©田村セツコ/小学館



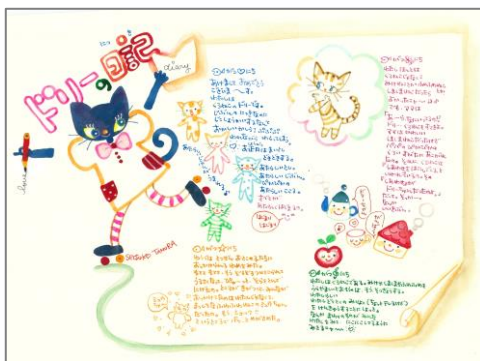
⑫「大好きがいっぱい」
『パッチワーク倶楽部』より
©田村セツコ

② 見る者の心を温めるイラスト・エッセイ

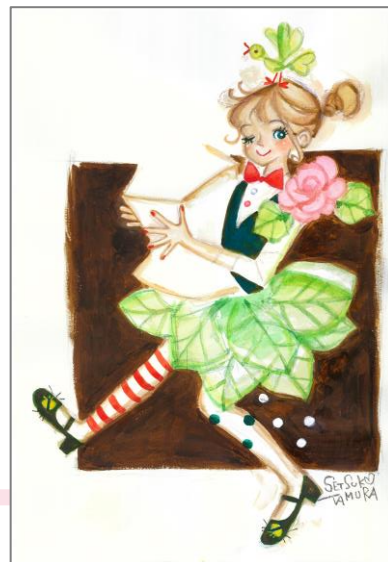
セツコといえば、イラストに愛らしい手書き文字を添えたイラスト・エッセイ。

サンリオの機関紙『いちご新聞』では、創刊時から現在進行形で連載を続けています。読者にはお馴染みの「HAPPYおばさん」はセツコの分身で、理想の「すてきなおばあさん」像でもあります。

⑬「HAPPYおばさんのおしゃればなし」
『いちご新聞』より (サンリオ)
©田村セツコ



⑭「ドリーの日記」
『いちご新聞』より (サンリオ)
©田村セツコ



⑮展示のための描き下ろし ©田村セツコ

③ 本展のための描き下ろし新作が2点!!

この度、展示のために新作を2点描いていただきました!1作目はチラシのメインビジュアルにもなっている可愛い少女の絵です。2作目はぜひ、会場にてご覧ください!

＊田村セツコ プロフィール＊

1938年東京生まれ。イラストレーター・エッセイスト。
高校卒業後、銀行OLを経て、師・松本かつちの紹介でイラストの道へ。
1960年代には『りぼん』や『なかよし』の〈おしゃれページ〉で活躍。
1970年代には全国十数社と契約を結び、〈セツコ・グッズ〉で一世を風靡する。
1980年代、名作物語の挿絵を多数描き、「おちゃめなふたご」シリーズ（ポプラ社）がロングセラーとなる。
2000年代以降も、プリンセスの物語など童話の挿絵を多数描いている。
詩作やエッセイも手掛け、著書多数。
サンリオの『いちご新聞』では1975年の創刊以来、2022年現在も〈イラスト＆エッセイ〉を連載中。
現在は、これまでの活動に加え、主にシニア向けの題材による執筆や取材など、「すてきなおばあさん」としても引く手あまたである。



⑬田村セツコ近影

セツコからのメッセージ

今までのどの作品にも、見る人への励ましの心を込めてきました。
イラストでもエッセイでも、参考になりそうなところ、気に入ったところをつまみ食いするように、楽しく見て行ってくださいね。

＊開催要項＊

展覧会名称	田村セツコ展 85歳、少女を描き続ける永遠の少女
会期	2023年1月6日（金）～3月26日（日）
休館日	毎週月曜 ＊1月9日（月・祝）開館、1月10日（火）休館
開館時間	10:00～17:00（入館は16:30まで） ＊新型コロナウイルスの影響により、会期・休館日・開催時間が変更になる可能性があります。 最新情報は美術館HPでご確認ください。
会場	弥生美術館 1階～2階
同時開催	竹久夢二美術館 「夢二が描いた 心ときめく花と暮らし」
入館料	一般 1000円 大高生 900円 中小生 500円 ＊竹久夢二美術館と二館併せてご覧いただけます。
住所	弥生美術館 〒113-0032 文京区弥生 2-4-3 TEL：03（3812）0012 FAX：03（3812）0699
交通	東京メトロ千代田線〈根津駅〉1番出口／南北線〈東大前駅〉1番出口よりいずれも徒歩7分 JR上野駅 公園口より 徒歩20分
HPアドレス	https://www.yayoi-yumeji-museum.jp
協力	サンリオ 集英社 小学館 シーモアグラス（五十音順）

＊お知らせ＊

展覧会限定オリジナルグッズを販売！
併設カフェ「港や」にて、展覧会限定ドリンクメニューを提供！

イラスト原画**200点**（うち、展示のための描き下ろし**2点**）に加え、
グッズ、立体作品、思い出の詰まった品など**盛りだくさんの展示**です！

＊この展覧会についてのお問い合わせは

弥生美術館 学芸員 谷山実加子 までお願いいたします。 TEL：03-3812-0012 FAX：03-3812-0699

FAX 03-3812-0699

弥生美術館 谷山 行

あらま。びっくり。

田村セツコ展

85 歳、少女を描き続ける永遠の少女

写真使用申込書

写真送付日 ____ 月 ____ 日 必着

掲載紙（誌）／番組名	
発売／放送予定日	
所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望のものに○をご記入ください。

図版番号（プレスリリースをご参照ください）

1	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	16

※著作権は田村セツコと、集英社、小学館が有しますが、本誌掲載画像を展覧会広報の用途で使用する場合に限り、使用許可を得ています。図版使用の際にはクレジットを必ず入れていただきたくお願い致します。

※画像のデジタルデータの転用は禁止です。ご利用後は破棄していただきたくお願い致します。

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する
-------------------	------

通信欄

画像データの提供について

同封のプレスリリースに掲載の図版について、メールに添付して画像データをお送りいたします。
ご希望の場合は、この申し込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699 までお申し込みください。
また図版の紙焼き及び美術館写真（外観／展示室）を必要とされる場合はご一報ください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名分）を用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

掲載紙（誌）ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。 〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-3 弥生美術館 担当 谷山宛